

大阪市立芸術創造館 舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策について

2020年10月12日作成

ご利用にあたっては下記の事項及び公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って感染防止対策を講じてくださいますようお願いいたします。

ご了承いただけない場合は、自粛をお願いする場合がございます。なお、状況の変化があった場合は随時見直しを行います。

【基本となる感染防止策】 接触感染・飛沫感染防止策

- マスクの原則常時着用
- 手指消毒や手洗いの徹底
- 大声を出さないことの奨励、咳エチケット
- 十分な対人距離の確保
- 常時換気に努める
- 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限
- 「大阪コロナ追跡システム」や厚生労働省の接触確認アプリ(COCOA)の活用
- 検温を行い、平熱と比べて高い発熱がある場合や体調不良の場合には自宅待機等の対応をとる

【主催団体・関係者へのお願い】

- 出演者・スタッフの体調(発熱・咳・咽頭痛の有無)の確認。
- 全ての来場者の氏名・連絡先(電話番号)および出演者や全てのスタッフの氏名・連絡先の把握。
(万が一の場合の追跡調査のため。芸術創造館への提出は不要、利用団体で保管してください。)
- 楽屋内もできる限りマスク着用を原則とし、公演前後の手指消毒やテーブル等共用部分の消毒を徹底。
- 楽屋内も蜜にならないよう定員を調整し、扉を開けるなど定期的な換気も行う。
- 接触感染予防の観点から、チラシ・アンケートなどの配布物を手渡す場合は、最小限に抑えてください。
- 受付・物販については、十分な対人距離(最低1m)の間隔を空けた整列を行えるよう設置する。

利用可能基準

- 2020年11月末までのイベント利用人数について定員制限を解除します。
「大声での歓声・声援がないもの(音楽コンサートや演劇、舞踊等)に関しては収容率100%以内」とします。
ただし、感染症拡大予防の必要性から、客席空間内だけでなく、受付・入退場時なども含めた感染防止対策が遵守可能な範囲での客席使用が前提です。使用内容によっては定員制限をお願いする場合がございます。
客席数の設定については事前によくご相談ください。
- 客席の他、舞台上についてもできる限り三密、飛沫感染を回避する対策を講じてください。
- 公演の前後及び休憩中に、扉開放による換気を行い、公演中は空調運転による外気交換を行うこと。

※受付設置例



【来場者への対応】

- 非接触体温計による検温の実施。発熱(37.5° C 以上)・咳・咽頭痛などの症状がある方は入場できません。
- マスクの着用必須。万が一マスクを持参していない場合、配布・販売するなど着用を徹底すること。
- 受付等に手指消毒用の消毒液を設置し、こまめな手指消毒・手洗いを徹底すること。
- 館内での飲食はご遠慮ください。必要な水分補給のみ可能。
- 受付・開場待ちや退場・休憩時のトイレ等の際に十分な間隔(1m)を保持するよう誘導してください。
- 公演後の出待ちや面会、差し入れ等は控えるように注意喚起してください。